

みんながチャレンジ 明日に向かって 本気でGO!



# 本郷の輝き

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongo/>

横浜市立本郷小学校  
学校学年便り 5月号  
令和5年4月28日

## 「チームワークってすごい」

校長 瀧田 健二

新年度が始まってひと月が経とうとしています。どの学年の子どもたちも新しい学年になったことを意識し、学習や活動に意欲的に取り組んでいます。学年が変わるといことが、子どもたちにとってこんなに刺激的なものなのかと感じます。この今の子どもたちの気持ちを1年間ずっと継続させていくことが大切だと思います。ぜひ保護者の皆様にもご協力をいただき、子どもたちが大きく成長できる充実した毎日をつくっていきたいと考えています。

子どもたちは、学校の教育だけで育まれるのではなく、地域や家庭での教育も重要です。学校では学び方をしっかり身につけ、自ら学習していく力をつけていくことや、集団の中での関わり方を実体験を通して学ばせることができます。家庭ではそれは難しいことです。しかし、家庭だからできること、家庭でなければできないことがあるはずです。そして、それが何かはそれぞれの子どもや家庭で違います。学校・家庭・地域のチームワークで子どもたちを育てていくことが大切なのだ痛切に感じています。私は、学校・家庭・地域で「三本の矢」だと考えています。戦国武将の毛利元就の教えです。

さて、チームワークと言えば、私的にはサッカーを思い起こします。昨年は世界中で、FIFA ワールドカップに熱狂しました。そこでサッカーを例にしてお話してみたいと思います。選手のインタビューを聞いていると、多くの選手から「チームの勝利のため」という言葉が聞こえてきます。団体競技なので当たり前といえば当たり前なのですが、真に実行するのは簡単ではありません。



例えば試合の中で、相手のボールをカットしてカウンターで攻め上がる時、ボールを奪った選手が単独で突破するのは簡単ではありません。両サイドの味方選手も駆け上がり、その選手をフォローします。相手チームの選手も懸命に戻り、シュートを阻止しようとします。そこで、ボールを持った選手は右サイドにパスを出し、協力して攻めます。再び右サイドからボールがゴール前に上がり、中央の選手が見事ゴールを決めたとします。よく見るシーンですが、このような中にも注目して欲しい動きがあるのです。左サイドの選手です。左サイドの選手は、ボールに触っていませんが、ゴール前に切れ込み相手のマークを引き

つけています。それによって、ゴール前に空いたスペースができ、得点へとつながったのです。ゴールを決めた選手、アシストをした選手が脚光を浴びやすいのですが、左サイドの選手の動きがなければ得点できなかったかもしれません。目立たないところでの協力を見逃さずに称えたいものです。

このような例は普段の生活の中にも多くあります。目立たないところでの称えられるべき行動を率先して行っている児童がいます。周囲もそれに気づくことができる学校にしていきたいと思います。

